



何でも
ご相談を



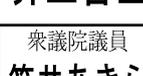
市議会議員
砂田喜昭
Tel 67-4322



衆議院議員
藤野保史



参議院議員
たけだ良介



参議院議員
井上哲士



衆議院議員
笠井あきら

禁無断転載
複写配布

新型コロナウイルス感染症

お困りごと、ご相談ください

日本共産党呉西地区議員団がまとめたパンフレット「新型コロナウイルスの危機をしのぐ一助に 役に立つ制度をまとめました」を持って、市内のお店を訪問しています。今週の「ほんぶん赤旗」日曜版にも折り込みました。ある食堂では「お客さんが全然来ない。灯りだけつけている」、床屋さんでは「密を避けるため 散髪だけ、顔そりは止めている」、ある若夫婦は「子どもが休校のため、夫婦交代で休みを取っているが、有給休暇でしのいでいる」などの声が寄せられています。

「アベノマスク」1世帯に2枚、これに466億円もの税金を使うことへの怒りの声も多数寄せられています。もっと医療体制の補強やPCR検査に使えとの声が上がっています。お困りごとを是非ご相談ください。

市民の声が政治を動かす

日本共産党はこうした市民の皆さんのお聞きし、国・県・市へ働きかけています。志位委員長は16日の記者会見で、外出自粛・休業要請と一体の補償、検査体制強化と医療現場への本格的財政支援を「新型コロナウイルス対策補正予算案への提起」を発表しました。小矢部市でも砂田市議が皆さんの声を市政に届けます(詳細は来週号の「週刊明るい小矢部」で)。

市民の声が政治を動かします。安倍政権がこくわすかの低所得者限定で「1世帯30万円」現金支給の補正予算を閣議決定していましたが、国民の反撥で前例のない閣議決定の変更、そして全員に「1人10万円」給付を決めました。どんどん、声を上げていきましょう。

すぐに役立つ制度の紹介

カナダでも、ドイツでも、イギリスでも国から生活支援金が素早く支給されています。しかし、日本政府は対応が遅すぎます。やりくりがたいへんという方も多いのではないのでしょうか。すぐに役立つ制度のいくつかを紹介いたします。詳細はパンフ「新型コロナウイルスの危機をしのぐ一助に 役に立つ制度をまとめました」をご覧ください。

☑ 無利子・無担保融資

無利子・無担保で、新規融資と既往債務の借り換えが可能になります。最近1か月の売り上げが、前年または前々年の同期比で▲5%以上減少していることが条件です。小規模事業者、個人事業主(フリーランスを含む)などが対象です。飲食店、旅館、理美容店、クリーニング店なども対象になります。

☑ 固定資産税、消費税などすべての納税を1年間猶予

2月から税の納付期限までの期間において、収入が前年同月比▲20%以上減少した場合、無担保かつ延滞税なしで1年間納税を猶予します。固定資産税、消費税、法人税など、基本的にすべての税が対象です。



市役所前の交差点でアピール

憲法をまもる小矢部の会

憲法をまもる小矢部の会は4月20日朝、小矢部市役所前の本町交差点で「安倍9条改憲ノー」のスタンディング・アピールをしました。

雨のなか、参加者はそれぞれの思いを手書きのプラスタで表現し、自粛・休業要請は補償とセット！憲法をまもり人権尊重なら当然！10万円を早く、9条を守ろう！NOWAR」、消費税を今すぐ5%に」と通行する人や車に訴えました。会員のひとりにはハンドマイクで語りました。全員がマスク姿でしたが、知り合いと気付いた方から会釈や手振りの激励がありました。

これまで憲法をまもる小矢部の会は毎週、毎週、地域を決めて家庭訪問をし、安倍9条改憲ノー署名活動を続けてきましたが、新型コロナウイルス対策を受けて、この週からスタンディング・アピールに変更しました。会では毎週、場所を変えながら広く市民にアピールすることになっています。

